

平成30年 第3回伊那地域協議会会議録

開催日	平成30年8月29日(水)											
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後7時35分						
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール											
委員の出欠 出席31名 欠席8名		委員氏名				委員氏名				委員氏名		
	1	御子柴 春樹	出	16	八幡 孫之	出	31	久保田 直樹	出			
	2	原 猛文	出	17	飯沼 厚史	欠	32	櫻井 智	出			
	3	竹前 進	出	18	平嶋 真	出	33	網野 美和子	欠			
	4	中山 昭	出	19	大沼 明夫	出	34	平澤 彩	出			
	5	原 壯内	出	20	伊藤 哲寛	出	35	河上 由香	欠			
	6	福沢 雄司	出	21	網野 隆志	出	36	小林 建正	出			
	7	武田 修平	出	22	板倉 倫顕	出	37	平賀 裕子	出			
	8	船阪 政義	出	23	佐々木 知恵子	欠	38	小林 正	出			
	9	池上 喜恵	出	24	田畑 恵子	欠	39	井口 清吾	出			
	10	中村 永夫	出	25	中山 彩香	出						
	11	北澤 健	出	26	宮原 勝	欠						
	12	坪木 澄人	出	27	山岸 和豊	欠						
	13	林 典男	出	28	中村 一重	出						
	14	小澤 辰夫	出	29	唐澤 敦史	出						
15	三澤 惇夫	出	30	清水 功	欠							
署名委員	原 壯内			福沢 雄司								
条例第10条の規定により出席した者	なし											
市側の出席者												
出席した事務局職員	地域創造課長 下平 明彦 地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美											
報告	(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業(2次募集分)の結果について (2) 伊那地域協議会からの提言に対する取り組み状況等について											
議事	(1) 伊那地域協議会検討課題について (2) その他											

配布資料	資料 No. 1 H30 伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No. 1-1～5 伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果シート 資料 No. 2 伊那地域協議会からの提言に対する取り組み状況等 資料 No. 3 検討事項（一覧）
------	--

1 開会

副会長により、開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ（会長より）

本日は、検討していくテーマを4つに絞るわけだが、安心・安全で住み良い地域づくりに取り組んでいきたいと思うので、慎重審議の上で皆さんの意見を聞きながら会を進めてまいりたい。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に5番 原 壯内委員、6番 福沢 雄司委員を指名する。

4 報告事項

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業（2次募集分）の結果について

(事務局)

伊那市協働のまちづくり交付金事業（2次募集分）の結果について説明。

(会長)

事務局から2次募集分の結果について説明があったが、選考については選考委員会に委ねている。また、申請団体にはこの結果を通知済みなので結果を変えるような意見等は遠慮いただきたいが、それ以外で何か意見があればいただきたい。

<質疑・応答>

<意見なし>

(会長)

2次募集分については、この結果に基づいて実施していきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(2) 伊那地域協議会からの提言に対する取り組み状況等について
(事務局)

伊那地域協議会からの提言に対する取り組み状況等について説明。

<質疑・応答>

<意見なし>

5 会議事項

(1) 伊那地域協議会検討課題について
(事務局)

伊那地域協議会検討課題について説明。

<質疑・応答>

(会長)

事務局から説明のあったように、皆さんから出されたテーマを4つに絞っていきたいと思う。意見があればお願いしたい。

(委員)

それぞれのテーマについては事前に目を通してきているわけだが、いずれもとても大切な内容だと感じている。その中でテーマを絞っていかなければならないが、資料の一覧表で提案番号を見ると複数集中しているものがあり、私も同様に重点的な内容だと感じている。これまでも検討してきたお継続、解決しなければならない内容が含まれていたりもするので、そこにある3番4番5番10番のテーマは提案者も複数いるし、内容を見ても納得だなと感じる。初めての方たちはなぜこの中から4テーマに絞って4グループで検討するのかなと思われるかもしれないが、今まで経験してきた、なかなか集中的な審議検討は難しい。4つぐらいだと適当だし、概ねひとつのテーマに10人ぐらいが割り振られると人数的にもやり易く、話し易いということがあったので、そのように考えていったらいいと思う。

(委員)

継続で中心市街地の活性化が前から騒がれていて、先程の資料でもあったが、いろいろな課で検討していただいているのに、それをまたここで並行して検討する必要があるのかなと思う。防災の在り方というテーマがあるが、昨日防災センターで各地域の代表者が集まって、伊那市の防災の在り方について検討する会が設けられた。そういった会議との関係というものが分からない。相当力を入れてやっていますので、地域でやるべき課題と並行して検討する必要があるのかなと思う。家族で遊べる場の提供をというテーマがあるが、

実際先程グリーンベルトというような話もあったわけだが、確かに狐島でもいろいろ申請をするのだが、道路が狭くてお金さえあれば実現できるのかもしれないが、なかなか実現は難しく、非現実的なテーマであり難しいのではないかなと思う。他で検討しているテーマは省いて、例えば防災の在り方は大切なテーマであるとは思いますが、100人以上の人が集まって会議をする機会があるので、市の方で他との連携もとりながら進めていってもらえたらと思う。

(委員)

中心市街地の話が出たので、私も並行して2年毎同じようなテーマで検討してもどうかなと思う。委員になった方で中心市街地とは意外と係わりがなかった方が振り分けられ、一方で私は中心市街地にお店があり、そこの若い人たちとこの街がどうあるべきかというような話をしている中で、温度差を感じることもあるので、おっしゃる意見はその通りだと思う。一方で、協働とすごく言われていて、行政と住民が同じ立場で同じ権利を持って対等に自分事として自分たちの未来を作っていく流れにこの10年くらいなっていて、この地域協議会がどうやら協働の担い手としてすごく大事なものであると最近分かってきた。そうすると私たち委員が協働とは何かということをもう一回考えてみなくてはいけないということになって、それぞれのテーマを自分事として考えて、本当に行政と一緒に変わっていくんだというふうにやっていかなければいけないと思っている。それらを考慮すると中心市街地が協働という意味での担い手になりやすいのではないかとも思っていて、協働で何か行政と行っていくということを含めて中心市街地の活性化というのを、ここから先検討できたらいいかなと思っている。

(委員)

今の意見を聞いて、中心市街地の活性化という点では、この2年間テーマとしてあがっている。それがさらにテーマとしてあがってくるということは、テーマ毎に提言内容があって取り組み状況というのが書かれているが、それぞれがスポット的に話がまとまっている内容なので、どういう風にするのかというロードマップがあってこれから何年かけてこうやっていくとか、こういう風にやっていくということがあって、中心市街地の活性化についてどういう風にやっていくかということをも市と我々が一緒になって検討していくということがないと、スポット的に検討してそれで十分なのかどうかということが誰も判断できない。そういう意味で言うと基礎的なそういったもの夢でもなんでもいいので計画が必要だと思う。防災についても、昨年地域のつながりについてという中で防災面もあがっているの、それが今十分なのかどうかということをも我々だけだと分からないので、それをどういうあるべき姿に持っていくのかということをも、あいまいでも大きな項目を掲げれば、とりあえずは達成できましたよとかここは達成できていませんとかが分かると思う。そんな形で検討していったらどうかと思う。複数の方が提案しているテーマは、様々なんな問題が残っているという認識でいいのではないかなと思う。

(委員)

今まで中心市街地の意見が出ているが、これについては私も同様に考える。ある程度今
どうしているかという市の取り組みがあるかと思うが、本来ならば地域協議会
が継続して同じ人がやっていたらいいと思うが、年度毎替わっているということが有り、
一度提言したものに対して取り組みがどうなっているのか、またそれに対して取り組みが
十分なのか、もしくは一緒に更にどうしていったらいいのかということを考えていくのが
この地域協議会であると思うので、そういう意味ではここで課題にあがっている以上、引
き続きこれに関してはやっていった方がいいのではないかと思う。それから、人が入れ替
わっているので、人が替われば新たなアイデアも出てくるので、そういった視点で同じ
項目であっても、内容・発言等が変わってくるかと思うので、この複数の方から提案のあ
ったテーマ順に4つを検討したらどうかなと思う。

(委員)

提案だが、他の委員の意見にあったようにロードマップを作るとか、そのことはとても
大切なことだと思っている。去年一昨年と検討したときは、委員が集まってみんなで知恵
を出し合ったのですが、例えばグループ検討が充実するように、もし協働のまちづくり交
付金の残額があるのならば、それなりの専門家を呼んで討議したりアドバイスをもらうな
り、その限られた人数ではなくて、資料にもあったが地域協議会だけの話し合いでは組織
が小さいのではないかという意見もすごくよく分かって、問題意識を持って取り組んでい
る方を巻き込んで、グループ検討もっと充実した形にするという方向性もあるのではない
かと思う。

(委員)

市に聞きたいのだが、ひとつは今総合計画の見直しを行っているがそれらの位置づけを、
この課題の中でどういう位置づけであるか分かれば出していただきたい。もうひとつは担
当課があるがもし要請した場合に必要なに応じて資料を提供してもらったり、一緒に出てい
ただいて協議をしていただくといったことは可能かどうか。

(事務局)

総合計画の関係であるが、先般議会でも認めてもらいこれで発表になるので、今後のテ
ーマ検討の時に、該当する項目をあわせてやった方がより最新なものを皆さんにお知らせ
する中で共に検討していただけるかなと思うので、この意見は是非とも取り入れてレビュ
ーしていきたいと考える。また、資料の提供、場合によっては担当者の同席というのも出
来る限り働きかけていきたい。

(委員)

昨日防災センターで百何人集まってその地域の責任者たちと今後どうしていこうかと、
狐島で事例発表してみんなでこうやっていこうよという会議をしたのだが、防災の在り方

となるとまた同じ内容を検討するのかと、確かに防災は重要な課題だが、本当に並行してやることなのかと考える。責務を持ってやらないと防災ということはなかなかできないところもあると思う。同じ課題をまたこの地域協議会の場で検討する意味がないのではないか。

(委員)

昨日の会議が今後も継続的に地域の防災について審議をしていただける場なのか、事務局で確認をしてほしい。

(事務局)

防災の在り方については、危機管理課が専門的な立場で計画を作っているが、果たしてそれが完璧なのかというと、7月の広島の大災害からも、ある程度マップを作成しているのだが、それが今の気象にあっているのかどうかといったこともある。様々な意見を出しあう中で検討していただく必要はあると思うので、この協議会の方で検討したいということであればそれをテーマとしてあげてもらってもいいと思う。

(委員)

検討事項の案件の中では防災の在り方について検討していくという括りにしているが、細かい方の資料の具体的な内容に関しては、例えば20番なんかは防災とはいっているが子供の安心・安全を考えると、健康長寿に関して高齢者の支え合い・助けあいとか、同じ防災という切り口であってもひょっとしたら設けるテーマとか具体的に考えていく中で違ってくる可能性もあるのかなと思う。

(会長)

総合的に今出された意見をまとめると防災については、内容的なことも含めて市に確認する必要があるが、検討テーマとして残して、複数の方から提案が出ている4つのテーマに絞っていく。なお防災については市に確認をして最終決定をしたいと思う。

(2) その他

(委員)

今取り上げられた課題についてだが、これからグループ化していろいろ取り組んでいくという話があったが、グループ化するにあたってはそれぞれの委員の希望を取って分けるのか、それとも事務局で分けるのか。できればそれぞれの希望を取って、このテーマを私は検討したいという方が集まって検討したい。

(事務局)

グループの分け方だが、テーマが4つ決まったところで、第1希望から第3希望までそ

それぞれのテーマについて検討したいか希望調査を行う。偏ってしまった場合は、地域のバランス等をみながら、中には第2希望でお願いする方もいるかと思うが、事務局の方でグループを分けさせていただきたい。

(委員)

自分が提案したテーマは優先的にグループ分けしてくれるのか。提案したテーマが検討テーマになった場合は優先的にそのグループにしてほしい。

(事務局)

基本的には提案したテーマを第1希望にしてもらうことと、欄外でもいいので自分が出したテーマだということを書いていただけるとこちらも分かり易い。考慮して調整させていただきたい。

(委員)

昨年地域協議会から提案してそれに関する市の取り組み方を本日報告していただいたわけだが、基本的には今日上がってきた検討事項の中で、地域で対応できるもの、それから地域と行政と協働でやらなければいけないこと、行政にお願いしなければならないことの3つに分けられるわけだが、特に地域と行政が協働でできることと行政にお願いしなければならないことが優先されると思う。希望調査の際にはこういったことも考慮して決めてもらえたらと思う。

(委員)

「竜東地区への公共施設全般の設置について」という項目があるが、前期の地域協議会で、道の駅の資料等も委員に配付しており、資料等も含めて引き継ぎがされていけば話が進めやすいのではないかと思う。ただ、新しい風を吹き込むという点では同じメンバーだけという訳にはいかないと思うが、その点も考慮しながらグループ分けをすれば検討もスムーズに進んでいくのではないか。

(委員)

「家族で遊べる場所の提供を」というテーマがあるが、このテーマで上げられている小さな公園の整備等は地域のつながりについてや防災の在り方といったテーマのなかで検討していくこともできるのではないか。

(会長)

提案していただいたテーマで4つに絞ったテーマに吸収して検討できることは一緒に検討していけばいいのではないかという意見である。そのように検討していただければと思う。

(委員)

「竜東地区への公共施設全般の設置について」に関係してだが、昨年の提案に基づいて、竜東の特に北部の6区、仙美の1常会を含めて竜東地域協議会という組織を立ち上げていて既に6回ほど会議を開催してきている。その中で1つは伊那バイパスが開通するので乱開発を防ぎたいと特別用途地域の指定をいただければということ優先的に取り組んでいる。その後地域づくりの受け皿にもなっていきたいという考え方の中で活動してきている。こういった組織もあるので、連携を取りながら取り組んでいければと思う。

(委員)

他の委員さんから意見があったが、私も防災の在り方のテーマの中で公園の設置についても含めて検討して頂けたらと思う。

5 閉会

(副会長)

以上を持ちまして、第3回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成30年8月29日

平成30年度 第3回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____